



商工かほく 1

令和8年1月 第107号

1,000社中230社を超える事業所が何らかの被害を受けた。特に大崎地区をはじめとするいくつかの地区では液状化による被害が大きく、当会では、国・県・市の協力を得て、各種補助金制度を活用し復旧・復興に取り組んでいます。既に復旧し、安定した事業経営を取り戻している事業所も増加していますが、液状化による被害を受けた事業所は、地盤改良工事の実施に向けた取り組みが始まった段階で、本格的な復旧までには、まだしばらく時間がかかる状況であり、当会としては、被害事業所に伴った支援を継続してまいります。

さて、一昨年1月1日能登半島地震が発生して丸2年が経過しました。かほく市でも大きな被害が生じ、当会会員事業所が大きな環境変化に対応できるよう各種支援に早急に取り組む所存です。具体的な支援として、能登半島地震からの復旧・復興に向けては、「なりわい補助金(国補助金)」の申請支援があります。事業所がDX(デジタル・トランス・フォーメーション)、AI(エーアイ)エージェント、ChatGpt(チャット・ジーピーティ)などで業務の効率化及び生産性の向上に取組む際は、デジタル化・AI導入補助金や業務改善助成金制度の活用支援、要望に応じた専門家の派遣制度(無料)を活用し、専門家との間のコーディネート役として支援を進めてまいります。販路開拓・販売促進の取り組みに対しては、小規模事業者持続化補助金を活用し、事業にかかる費用の2/3を補助金でまかなえるよう取り組みます。また、金融支援について、当面の資金繰りについて日本政策金融公庫や石川県信用保証協会との協議を踏まえ、返済負担軽減や緊急融資の支援を行います。

また、一昨年の能登半島地震を機に、BCP計画(多発する自然災害等に対する小規模事業者の事業継続計画)策定について、事業所からの策定支援の要望が増しており、重点事業として早急に対応してまいります。

かほく市商工会は、これらの支援策の窓口となり、役員員一丸となり、会員皆様のお力も借りながら「元気な企業が集うまち、かほく市」を目指して取り組んでまいりますので、よろしくお願ひします。



新年のごあいさつ

かほく市商工会
会長 南 春夫

青年部 視察研修

令和7年10月26日・10月27日

「1日目」産業視察とモノづくりの歴史を学ぶ
早朝にバスで石川を出発し、最初に訪れたのはテレビ番組でも取り上げられる浅野燃糸株式会社。工場見学では、地域でも親しまれる繊維工場の製造工程を間近に見ることができ、併設のカフェやショップでは参加者がお土産のタオルを購入する姿も見られました。

昼食後は、ヤマザキマザック工作機械博物館を訪問。新旧の工作機械やSL、自動車模型などが展示されており、モノづくりの歴史と技術の進歩について学ぶことができました。

その後、岐阜市内のホテルにチェックインし、近隣の居酒屋で夕食をとるながら、参加者同士の交流を深めて1日目を終えました。

「2日目」岐阜の歴史と自然を体感
金華山ロープウェイで岐阜城へ登城。山頂からの見晴らしは素晴らしい。織田信長ゆかりの城として歴史に触れながら景観を楽しみました。

続いて訪れた「アクトビスタ」では、世界の淡水魚を中心とした展示を見学。子どもから大人まで楽しめる内容で、淡水生物の多様性を学ぶ貴重な時間となりました。

最後に郡上八幡へ移動し、流響の里にて昼食ならびに食品サンプル作り体験に参加。参加者は思い思いの作品作りに挑戦し、併設の昭和レトロ館では懐かしい玩具や看板に触れ、昭和の雰囲気を楽しみました。

令和7年度の視察研修は、岐阜県内の特色ある企業や文化施設を巡り、産業・歴史・観光の幅広い分野を学ぶ充実した2日間となりました。

目次

P2 石川県商工会大会表彰
河北・森本広域商行政懇談会
TokyoTextileScope2026で繊維産業をPR
かにカニ合戦 大盛況
サービス部会 視察研修

P3 かほく創業塾2025
商業部会/建設部会 視察研修
ちょこっと旅「高松紋平柿、大海西山遺跡を巡る旅」開催

P4 申告期限のお知らせ
雑炊・鍋まつり予告
若手後継者等育成事業研修会 女性部
11月号読者プレゼント当選者発表

<https://kahoku.shoko.or.jp/>

【編集・発行】かほく市商工会 かほく市高松ク42番地1 TEL 076-204-6822 FAX 076-282-5663

日々の業務を

デジタル化で効率UP!

取引や会計などの業務のデジタル化が進めば・・・

- 単純ミスを防いで正確性と効率UP!
- 書類の保存コストDOWN!
- 経営の高度化!

会計ソフトの導入等でIT導入補助金の利用も！
詳しくはこちらから

国税庁では日々の取引や会計などの、業務のデジタル化促進に向けて取り組んでいます

国税庁 <https://www.nta.go.jp>

金沢税務署からのお知らせ

項目	提出期限
所得税・復興特別所得税	令和8年2月16日(月)～3月16日(月)
個人事業者の消費税・地方消費税	令和8年年3月31日(火)
還付申告(医療費控除・ふるさと納税など)	令和8年1月1日～令和8年12月31日

令和7年度 第65回 商工会 全国大会

去る11月20日(木)、東京都渋谷区「NHKホール」において第65回商工会全国大会が開催されました。かほく市商工会では、次の皆様を表彰を受けられました。

(敬称略・順不同)

- ◎中小企業庁長官表彰
- ◎優良女性部
- ◎全国商工会連合会長表彰

かほく市商工会女性部

・役員功労者

- 二口 勝博(理事)
- 長田 淳(理事)
- 中本 八太郎(理事)
- 宮崎 実(理事)

かほく四季まつり あったか雑炊・鍋まつり

冬の味くらべ

■キャンペーン期間
令和8年1月17日(土)～2月15日(日)まで

■まつり期間中、登録飲食店でメニューの雑炊・鍋を食べると抽選券がもらえます。抽選券に、お名前・住所・電話番号をご記入のうえ、お店や商工会に備付けの応募箱に2月17日(火)までに投函ください。後日抽選で登録飲食店共通お食事券、かほく市共通商品券が当たります。

あったか雑炊・鍋を食べて、お食事券をGETしよう!

冬の味くらべ Wチャンス!!

さらに 雑炊・鍋を食べて、ラリーカードに、にゃんたろうスタンプを5つ(1つ重複可)集めて、かほく市共通商品券1,000円分をもらおう!!(ラリーカードは各店舗でもらえます。)

ラリーカードは、令和8年2月19日(木)までに、かほく市地域創生課、高松サービスセンターで交換いたします。カードの詳細は、「店めぐりラリーポイントカード」をご覧ください。
※お1人様1回のみ交換します。

満ぶく賞 登録飲食店共通お食事券 10,000円...10本

味わい賞 登録飲食店共通お食事券 3,000円...90本

特別賞 かほく市共通商品券 50,000円...1本

抽選日(予定) 令和8年3月上旬 当選者には直接賞品をお送りいたします。

かほく市まつり実行委員会(かほく市商工会 かほく市高松ク42-1 ☎076-204-6822/かほく市地域創生課 かほく市宇野気ニ81 ☎076-283-7132)

11月号 読者プレゼント

11月号「お店紹介」の読者プレゼントに沢山のご応募をいただきありがとうございました。応募総数60通のハガキの中から抽選しましたところ、次の皆様が当選されました。おめでとうございます。

今回当たらなかった応募ハガキはW抽選に回ります。ご期待ください。

■おうちかふえMie お買物券10名様 (敬称略)

当選おめでとうございます

- 香林 里美(高松)
- 羽喰 幸枝(木津)
- 溝口 郁代(上田名)
- 能任有為子(外日角)
- 山田美代子(長柄町)
- 下出美智子(高松)
- 中村 尚美(七連)
- 遠塚谷厚子(浜北)
- 笠嶋 信夫(木津)
- 水田加代子(宇野気)

令和7年度 若手後継者等育成事業研修会 女性部

桂 三四郎氏が講演

かほく市で「商売繁盛の秘訣」を伝授

かほく市高松産業文化センター大ホールにて、10月20日(月)午後2時より、落語家の桂三四郎氏をお迎えし、「笑う門には福来る!」挨拶「礼儀作法」「敬いの心」が商売繁盛の秘訣と題した講演会を開催いたしました。

落語の厳しい修行で培われた経験をもとに、経営に通じる普遍的な教訓をユーモアを交えて紹介されました。

参加者からは、「日々の仕事の中で見落としがちで、再認識できた」との声が聞かれ、商売繁盛に向けた新たな学びを得る貴重な機会となりました。

令和7年度
第65回
石川県
商工会大会表彰

去る10月29日(水)、石川県地場産業振興センター「本館一階大ホール」において、第65回石川県商工会大会が開催されました。かほく市商工会では次の皆様が表彰を受けられました。

(敬称略・順不同)

●全国商工会連合会長表彰

◎優良従業員

竹中 昭彦(株二口製紐)

■石川県商工会連合会長表彰

◎地域貢献企業

(有)ワイ・オール・ティ(北川 靖幸)

(株)室島精工(室島 満)

ニユー珊瑚(西谷 睦子)

◎役員功労者

岡田 栄喜(理事)

◎優良従業員

山崎 清人(有)キムラ工芸)

藤本 晃介(株河北モーターズ)

高崎 琢也(株中村産業)

高崎 若菜(株中村産業)

松山 貴恵(株中村産業)

北川 由美(株中村産業)

安達 晴美(株中村産業)

城戸 雄三(株竹田工業)

■石川県商工会青年部連合会長表彰

◎青年部優良役員

松田 充信(副部長)

■石川県商工会女性部連合会長表彰

◎女性部優良役員

森 喜代子(常任委員)

梶 いさ子()

TokyoTextileScope2026で、かほく市の繊維産業をPR

11月12日(水)～14日(金)、東京都立産業貿易センター浜松町館にて繊維分野の国内最大級見本市「TokyoTextileScope 2026 Autumn/Winter」が開催されました。かほく市商工会では販路開拓支援事業として「繊維のまち 資材の宝庫かほく」を全国にPRする目的で、平成18年から各種の展示会に出展事業を行っております。かほく市商工会は12m×2mのスペースに原糸卸からゴム入り細巾織物等の製品製造販売企業7社が自社PRやアパレル関係などの商談に臨み、販路拡大を目指しました。



今回の出展企業は、
(株)気谷、(株)中村編織工業、(株)二口製紐、
(株)シオモト製紐、(株)紐屋、(株)タロダ、IKK(株)

河北・森本広域商工
行政懇談会

去る11月26日(水)、森本商工会館(金沢市)において、河北郡市2市2町の市長・町長、議会議長他をお招きし、河北・森本広域商工行政懇談会を開催しました。かほく市商工会南春夫会長が要望事項を述べ、かほく市油野和一郎市長が回答しました。要望事項と回答は以下の通り。

【要望】 企業立地促進に関する要望

【回答】 まず、本市における企業誘致に向けた取り組みについて申し上げます。「工場等立地助成金をはじめとする補助制度や、開発行為等に伴う周辺インフラの整備、また各種行政手続きの場面に於いて、企業に寄り添った伴走支援を行うことなどを中心に展開しております。また、加えて、横山工業団地の隣接地において、工業用地として活用するために必要な道路の整備についても、現在行っているところであり、新規企業進出の受け皿とすべく、令和8年度夏までの完成を目指し、事業を進めております。そのような中、皆様もご存じであるかと思いますが、近年、高松地区南部の県道高松内灘線沿いに、企業が相次いで立地しております。

市では、その周辺一帯が幹線道路へのアクセス性に優れていることに加え、住宅地なども形成されていないことから、都市計画の「特定用途制限地域」として、「主要幹線道路沿道地区」や「工業適正立地地区」に位置づけられていることとなります。

しかしながらその一方で、ご要望にもありますとおり、当該地域周辺にも、未だ広大な未利用地が存在しているものの、農振法農業振興地域の整備に関する法律により、宅地化などの開発が制限される農地が点在しており、企業が求める規模の用地を一回の土地として確保することが難しくなっております。

このため、市といたしましては、現在策定作業を進めている「第3次かほく市総合計画」に、市全体の将来都市構造の方向性を盛り込むとともに、令和8年度末に策定予定の「かほく市都市計画マスタープラン」などにより、将来的なまちづくりの方針を踏まえ、工業を集積するにふさわしい適地を計画に位置付けることを検討し、計画的な土地利用を誘導してまいりたいと考えております。



商業部会 視察研修 ● 京都府・福井県

10月21日(火)～22日(水)、参加者8名で京都府・福井県への視察研修を実施しました。

1日目は、特別名勝の天橋立からスタートしました。傘松公園の展望所から「股のぞき」で景色を眺めると、全長約3.6kmの砂州には約6,700本の松が生い茂り、その美しさが厳しく保全されていることがよく分かります。次に訪れたのは、重要伝統的建造物群保存地区に指定されている伊根の舟屋群です。海に面して建ち並ぶ230軒余りの舟屋は、一階が船の格納庫、二階が居室という独特な構造を持ち、漁師たちの生活と一体化した稀有な景観を生み出しています。近年、舟屋を改修した宿泊施設や食事処が増え、地域の生活文化そのものが魅力的な観光資源へと転換されている事例を目の当たりにし、地域資源の新たな活用方法について深く考えさせられました。その後、舞鶴引揚記念館で抑留者や引揚者が残した手記、写真、遺品などの膨大な展示品を見て、戦争の記憶を風化させないための展示への工夫に、強い感銘を受けました。



2日目は、舞鶴赤レンガ倉庫群を視察しました。重厚な赤レンガ建築が連なるこの一帯は、日本の近代化の歴史を今に伝える貴重な産業遺産です。これらの倉庫は現在、ミュージアム、カフェ、イベントスペースなどに生まれ変わり、港町の歴史を感じながら交流や賑わいを生み出す地域再生の核となっています。次に、一乗合朝倉氏遺跡をガイドの案内で見学しました。一乗合は、戦国時代に朝倉氏が五代にわたり越前の中心として栄華を極めた城下町です。400年近く土の中に眠っていたため、町並がほぼ完全な形で保存されていました。視察の最終地は、曹洞宗の大本山、永平寺です。70余棟にも及ぶ殿堂楼閣が、深い杉林に囲まれた清らかな自然の中に静かに佇む姿は、まさに荘厳の一言です。

今回の視察では、地域資源を「いかに守り、いかに活かし、いかに次世代へ伝えるか」という視点を持つことの重要性を強く認識することができました。

建設部会 視察研修 ● 広島県

建設部会では、11月5日(水)から6日(木)にかけて、参加者12名で広島県への視察研修を実施しました。

研修1日目に訪問した下瀬美術館では、瀬戸内海の美しい景観を活かした建築と、現代アートと自然が融合した多様なコレクションの展示から、地域の文化振興への貢献と新たな観光の可能性を感じました。その後、厳島神社など宮島を観光しました。

2日目は、平和と防災、そして呉の歴史に触れる内容となりました。平和記念資料館・原爆ドームでは、核兵器の非人道性と平和の尊さを改めて胸に刻みました。特に原爆ドームの姿は、強烈なメッセージとして参加者の心に深く響きました。

広島市豪雨災害伝承館では、平成26年に発生した豪雨災害の記録や解説、被災者の方の説明を聞き、自然災害の恐ろしさや「生きる術」を次世代へ継承していく重要性を学びました。最後の呉湾艦船めぐりでは、呉の歴史と、迫力ある海上自衛隊の艦船を間近に見学し、日本の近代化を支えた呉の技術力と役割を実感しました。

今回の視察研修は、地域の文化振興、防災・減災意識、そして歴史認識という多様な「学び」に触れる大変有意義な研修となりました。



厳島神社の大鳥居にて

かほく創業塾2025を開催！

かほく創業塾を11月7日(金)から5回シリーズで開催し15名の方が受講されました。

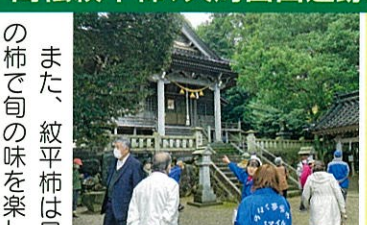


先輩創業者として体験談を語る「いかのおみせ」の大機智也代表

講師には、(株)迅技術経営の高稲俊輔税理士・中小企業診断士、小松巧特定社会保険労務士、日本政策金融公庫金沢支店国民生活事業の留目憲男融資第2課長、かほく市地域政策部地域創生課の小村伸悟参事をお招きし、事業を軌道に乗せるための経営の知識(経営一般・財務・人材育成・販路開拓等)と具体的な計画作成のプロセスについて説明いただきました。

今回は、先輩創業者としてかつての当セミナー参加者でもある、「いかのおみせ」の大機智也代表に登壇いただきました。創業に至る経緯や事業を軌道に乗せるまでの体験談を披露しました。実体験に裏打ちされた言葉は参加者にとって大きな励みや示唆となり、創業への意欲を高める有意義な機会となりました。

高松紋平柿、大海西山遺跡巡り



また、紋平柿は最盛期だったこともあり、参加者の方々はお土産の柿で旬の味を楽しまれたのではないのでしょうか。

かほくちよこつと旅

11/9

11月9日(日)にかほくちよこつと旅「高松紋平柿と大海西山遺跡を巡る旅編」を開催しました！

ポランテア観光ガイドとともにJ.Aかほく集出荷場や瀬戸菅原神社、大海西山遺跡を巡り、普段生活している中にも歴史や文化が息づいていることに気づくことができました。参加者の方々も興味深そうに耳を傾けていました。

かほく四季まつり 大盛況！
かほく力ニ合戦



去る11月16日(日)、かほく市七塚生涯学習センター(中央図書館)駐車場にて、「かほく力ニ合戦」が開催され、約1万人の来場者で賑わいました。

当日は朝から快晴で風もなく暖かく穏やかな天候になりました。まつり開始の午前9時には「加能」に「香箱」を自当の約500人の来場者が会場の周りを取り巻く列に並びました。

まつりは、チャリティもちつきで始まり、会場では、加能かほくにの販売のほか、かに汁、かに雑炊、かほく市特産品(長いも、紋平柿、かほくり等)の販売、焼き牡蠣、焼き鳥、焼きそばなども販売されました。また、友好都市の長野県駒ヶ根市の店舗では駒ヶ根市特産品のりんご、ソースかつ丼、牛乳パンの販売も行われました。

サービス部会 視察研修 ● 福岡・熊本

去る10月20日(月)～21日(火)、サービス部会は15名の参加者で福岡・熊本方面への視察研修を実施しました。

1日目は九州を代表する大衆演劇場である新劇座にてお芝居と演舞を鑑賞。その後、太宰府天満宮を視察。2027年に式年大祭を予定しているため本殿は改修中であり、万博プロデューサー藤本壮介建築士が設計した仮殿をバックに記念撮影しました。

2日目は博多から熊本へバスで移動し、熊本城を視察しました。天守閣は地上6階地下1階の構造となっており、内部は熊本城にまつわる資料館となっていました。資料館内の戦国時代から現代に至る各時代の貴重な資料を見学しました。両日ともに見所多く、大変有意義な研修になりました。

